



・小学校で受けていた配慮や支援が中学校でも継続されるのだろうか。  
 ・教科担任制の中学校で、我が子を十分

理解してもらえるだろうか。  
 ・校内フリースクール（F組）を直接見てみた。  
 ・城北中学校と葵中学校、どちらに進学させるのがよいただろうか。  
 ・単学級で過ごしてきた我が子が、多数の中学校でやっていけるだろうか。  
 中学校の現状を見ていただき、保護者の方々の思いや疑問、不安な点を共有する機会を大切にしたいと思っています。

ウイング、シャフトなどを分担して製作し、小学生が楽しんで組み立てる姿を想像しながら丁寧に作業を進めました。  
 当日、中学生は自己紹介の練習の成果を発揮し、全員が名前や特技を堂々と伝えることができました。特に輝いていたのは、スポーツカー作りの時間でした。中学生は小学生に作り方を説明したり、一緒に組み立てたり、困ったときには「メンタナンスのプロ（葵中職員）」を紹介したりと、大活躍でした。完成したスポーツカーを走らせるコースも工夫し、小学生とともに楽しむ姿が印象的でした。  
 このような交流を通じ、小中九年間の義務教育における子供たちの成長を実感しました。また、中学生にとっても大きな学びの場となり、職員にとっても、小学校の児童たちの様子を知る貴重な機会となりました。

地域とともに成り立つ葵中学校  
 葵中学校は、井田、愛宕、広幡の三つの小学校の学区から成り立っています。井田小学校は岡崎市内で最も児童数が多く、現在の六年生は六年級あります。一方、愛宕小学校は各学年一学級で、六年間クラス替えがない学校です。広幡小学校は三学級ですが、その約八割が城北中学校に進学します。各地域や小学校の雰囲気にはそれぞれの良さがあり、行事や子供たちの姿から知ることができ、特に、中学校入学直後には、出身小学校ごとの特色がよく表れています。

先月、何名かの小学校保護者の方が葵中学校へ見学に来られました。その際、お子様の中学校生活に多少の不安を抱えている方々から、以下のような声が寄せられました。  
 ・小学校で受けていた配慮や支援が中学校でも継続されるのだろうか。  
 ・教科担任制の中学校で、我が子を十分

理解してもらえるだろうか。  
 ・校内フリースクール（F組）を直接見てみた。  
 ・城北中学校と葵中学校、どちらに進学させるのがよいただろうか。  
 ・単学級で過ごしてきた我が子が、多数の中学校でやっていけるだろうか。  
 中学校の現状を見ていただき、保護者の方々の思いや疑問、不安な点を共有する機会を大切にしたいと思っています。

校長 柴田 昌一

## 小学校と連携し 安心して通える葵中に



発行所  
 岡崎市立葵中学校  
 (電話 21-0171)  
 (FAX 21-0172)

12月号

地域との連携をこれからも

保護者や地域の皆様の支えを得ながら、

葵中学校は井田小学校、愛宕小学校、広幡小学校と連携を深め、安心して子供を預けられると信頼される中学校であり続けたいと願っています。今後とも御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたし

ます。

# 文化祭

## 英勇者をめざした文化祭

生徒会長

英勇者をめざして、一人一人の力を出し切った結果、ここにしかない素晴らしい文化祭をつくりあげることができたと感じています。文化祭は「挑戦」と「成長」の場でもあります。みんなが助け合い、一つの目標に向かって努力することで、僕たちはさらに強くなり、さらに仲間としての絆を深めることができました。

この経験を、

一・二年生は、  
これからの学校生活や行事に、  
三年生は残り少ない中学校生活に生かしていきたいと思います。

## 人を楽しませる喜び

メディア部

メディア部は明確な目標や大きな大会もありませんが、この三年間活動をしていたことに本当に楽しかったです。仲間とプログラミングを教え合ったり、タイピングで白熱したバトルを

令和六年十一月一日(金)・二日(土)

繰り広げたり。また、新入生歓迎会でのゲームを使った発表や、文化祭でのネタを交えた作品発表で、自分や仲間が作った作品を楽しませてくれる瞬間を見て、心が嬉しすぎていっぱいになりました。

これからのメディア部も、たくさんの人を楽しませる部活であってほしいと思います。

## 「協力」で作り上げた文化祭

科学技術部

「三年間の思い出を切り取りたい」それが文化祭に対しての僕の思いでした。始まった文化祭の準備。最初はテーマや実験もまともらず、話し合いはなかなか進みませんでした。しかし、みんなが様々な意見を出し合い、影絵やドライアイスの実験など全校で楽しんでもらえるように何度も試行錯誤しました。

迎えた文化祭当日。実験は一つ失敗してしまいましたが、他の実験は申し分ない結果に終わりました。この結果もみんなが協力したからこそです。

その後、ロボコンという最後の大会も残っています。ロボコンもみんなが協力して、良い結果を出したいと思えます。

## 三年間の集大成

芸術部

絵を描くことが好きだった私は、芸術部に入学しました。始めは慣れない油絵を描くことに苦戦していましたが、描いていくうちに道具の扱い方が分かってきて、どんどん描くのが楽しくなりました。

文化祭では、先生の似顔絵クイズと油絵展示を行いました。似顔絵を制作する中で、誰かのために絵を描く楽しさを学びました。また、自分

の描いた絵で人に喜んでもらえる感謝を知ることができました。この三年間で学んだことをこれからの学校生活に生かしていきたいと思います。

## 最後のステージ

吹奏楽部

今年の文化祭は、「私達と聴いている人が楽しめるステージ」を目標に練習を始めました。選曲から、みんなが十分に話し合い、ミセスグリーンアップルメドレー、SNSメドレー、宝島の三

曲に決めました。最後のステージになる三年生は、一曲の中で楽器の音色がアピールできる部分を考え、ソロで演奏し



ました。また、今年流行した曲(SNSメドレー)では、先生方に踊りや歌ってもらうために、動画を準備して依頼し、私たちの演奏に合わせてステージを盛り上げました。歓声や拍手で会場が沸き、三年間の締めくくりであるステージを気持ちよく、のりのりで演奏することができました。

## ●合唱コンクールの結果

- ♪一年生の部
  - 最優秀賞 七組 「地球星歌」
  - 優秀賞 六組 「Believe」
  - 優良賞 一組 「あさがお」
  - 指揮者賞 六組
  - 伴奏者賞 一組
- ♪二年生の部
  - 最優秀賞 五組 「キミのもとへ…」
  - 優秀賞 四組 「ピカリ」
  - 優良賞 六組 「心の瞳」
  - 指揮者賞 三組
  - 伴奏者賞 二組
- ♪三年生の部
  - 最優秀賞 二組 「栄光の架橋」
  - 優秀賞 五組 「信じる」
  - 優良賞 一組 「あなたへ」
  - 「旅立ちに寄せるメッセージ」
  - 指揮者賞 五組
  - 伴奏者賞 五組

# 合唱コンクールを終えて

## Happy Winner

一年七組

初めての合唱コンクール。最初は、私もクラスのみならず、どのように練習を進めればいいのか分からず、不安でいっぱいでした。それでも、七組の曲である「地球星歌」で最高の合唱を創りあげたために、クラスの目標を「Happy Winner」に決め、少ない時間の中で一生懸命練習しました。

本番当日、指揮者として前に

立っている私に、クラスのみならず、今まで一番素敵で歌声を届けてくれました。結果は、最優秀賞、この最高のクラスの指揮者ができたことを、とても誇りに思っています。そして、「Happy Winner」になれたことが最高の思い出です。

## 笑顔を届ける合唱を

二年五組

「最優秀賞、五組。」

文化祭「百目の結果発表で、思わず立ち上がった。私達のクラスは「聞いて、人を笑顔にさせる合唱」を目指して練習してきた。しかし、強弱がつかない、ソプラノ・アルトの音がテノールの声に負けてしまっているなど様々な課題があり、練習が止まってしまっていた時もあった。でも、みんなの気持ちが高まって、いつか感動する合唱へ近づいていった。合唱コンクールを通して、みんな

で一つの目標に向かって団結する楽しさを学んだ。これからスキル研修など様々な行事がある。この楽しさを胸に全力で楽しみたい。

## 栄光の架橋へ

三年六組

「栄光の架橋」は私たちのクラスにとって、とても思い出に残る曲になりました。

初めはなかなかクラスがまとまらず思うように練習が進みませんでした。しかし、パトリダーを中心に協力し、お互いに声をかけ合い、分からないところを教え合いながら、みんなで合唱を良くしようと努力してきました。結果、最優秀賞をとることができました。

これまでの練習を通して、仲間と団結し、努力することの大切さを学びました。この経験を胸に、この曲の歌詞のように、それぞれの「栄光の架橋へ」と進んでいきたいです。

## 二期期を振り返って

### 成長できた二期期

一年三組

あつという間に二期期が終わり、冬休みがやってきます。中学校生活にはいよいよ慣れてきて、一分前着席や授業準備もできるようになりました。二期期ではたかさんの行事があり、多くの成長や発見がありました。特に文化祭での合唱コンクールが印象に残っています。初めての合唱コンクールで、最初は人前で歌うことに恥ずかしさがあり、なかなか声を出せずにいました。しかし、パトリダーの子たちが頑張って声をかけてくれる姿を見て、自分も頑張らなければいけないと思い、一生懸命歌うことができるようになりました。そうして、みんなで切磋琢磨し、練習していく中で、クラスの団結を感じました。全力で挑んだからこそ、本番歌い終わった後は、何よりも気持ちが高

まったです。また、生徒会ステージではさまざまな人が全校生徒のために時間を割いて動いてくれたおかげで、とても楽しい時間を過ごすことができました。最後の全校合唱で歌ったRPGでは、学校の団結を感じました。

二期期でできたことを継続し、三期期では一人一人の色(個性)を大切に、学年テーマでもある、きれいな虹が作り上げられるように頑張ります。

## 全力で頑張ったこと

二年三組

僕たち二年生の二期期頑張ったことは全力・笑顔・挑戦です。僕は特に全力の部分で頑張ってきました。全力で頑張ったことの中で印象に残っていることは合唱コンクールです。僕は指揮者を務めました。指揮者として、アドバイスをみんなに伝えていました。しかしそれらしいアドバイスが言えず、クラスを一つにまとめる力も不十分で、あまりクラスの力に、僕の力も不十分で、せんでした。さらに、僕の力がなくても、クラスの歌が日に日に上手になっていくのを感じました。僕は自分も変わらなければいけないと心に火がつかしました。どのように指揮を振ればいいのか、歌が歌いやすい指揮とはなんだろうなど、試行錯誤を重ねました。その中で担任の先生が「そんなに悩まなくても自信をもって全力でやることに意味がある」と声をかけてくれました。その言葉は自分が変わる大きな力になりました。それからクラスの支えもあって、本番では最優秀賞指揮者賞を取ることができました。今回、学んだのは何事にも全力で行うことの素晴らしさや、大切さです。それを改めて学ぶことができた貴重な機会になりました。

冬休みが終わった後の三期期は二年生のまとめ、

そして三年生への準備期間です。二期期に学んだことを生かし、今のクラスで過ごす残り少ない一日一日を大切に、勉強、部活、学級活動などに全力で取り組みたいと思います。

## 仲間とたかさんの思い出を つくった二期期

三年一組

行事が多くさんあり、充実した二期期でした。私は特に思い出に残っていることが二つあります。

一つ目は、「葵の舞」です。私たちは夏休み前から練習を始め、今まで見てきた先輩たちの姿を目撃し、日々頑張りました。最初は、振り付けがあまり覚えられず、不安を感じましたが、練習を重ねるうちに、自分でも上手になっていくのを実感し、だんだんと自信が湧いてきました。全体練習では、声が出せず、動きが揃わなかったときもありましたが、本番が近づいて、学年全体の気持ちが高まっていき、まとまりのある舞をすることができるようになりました。本番では、最高の舞を披露でき嬉しかったです。

二つ目は、文化祭です。私は生徒会役員として、運営に関わりました。準備期間が短かったことで、とても忙しい毎日でした。朝早くから学校に集まって打ち合わせや練習をし、授業が終わってからそれぞれを毎日繰り返しました。でも、かかわった人々と仲良くあったり、新しい経験をしたりして楽しかったです。生徒会に入ってから初めての大きな仕事で、絶対に成功させようと頑張りました。当日は、緊張するどころなく、楽しむことができました。

これから私たち三年生は、受験に向けて今までよりもさらに勉強に向き合わなければいけません。志望校合格に向けて、前向きな気持ちで三期期をごせるように、これからも頑張っていきたいです。

### 被災地復興支援バザー

#### 復興の未来へ向けて

生徒会役員

今年の元旦の地震、九月には激しい豪雨が能登半島を襲いました。被害は大きく、被災地はとても深刻な状況であることが、私たちに何かできることはないかと考え、生徒会で「被災地復興支援バザー」を企画しました。ポスター制作のために被災地の情報を調べ、被害の大きさを知り、被災者を助けたい、支援の輪を広げたいと、より一層強く思うようになりました。今も災害の被害に苦しんでいる人が多くいます。今後もこのような活動を続け、多くの被災者の方に温かいエールを送りたいです。

#### 〈義援金について〉

被災地復興支援バザーにご協力ありがとうございます。ご支援ありがとうございました。

- 一学期 四九、五七八円
- 二学期 一六四、九九六円
- 前期資源回収収益 二〇、八二五円
- 合計 三三三、九九九円を岡崎市役所を通して、日本赤十字社に義援金として寄付し、能登半島を支援してもらいます。

#### PTA制服リサイクルバザー

十一月一日に開催された制服リサイクルバザーでは五一、八〇〇円の収益を上げることができました。

制服のリサイクルに御協力いただき誠にありがとうございました。

### 前期生徒総会を終えて

生徒会役員

前期生徒総会で、どの委員会がどんな活動を行っていたのか、活動を通してどのような課題が見つかったかを知ることができました。短い半年間の中で、生徒が主体となっており、学校をより良くする姿勢が見られてよかったです。これからも、このような前向きな気持ちで活動することが大切だと思います。

後期では、前期で見つかった課題を改善していきたいです。後期でも難しいことや新たな課題が出てくると思いますが、協力し合いながら、より良い学校をつくれるように活動していきたいです。



### 今後の予定(一月・二月)

- 一月
  - 七日(火) 始業式
  - 八日(水) 書き初め会
  - 九日(木) 弁当持ち会
  - 十日(金) 授業参観
  - 十一日(土) スキー研修説明会(二年)
  - 十二日(日) 給食開始
  - 十三日(月) 岡崎学力検査(一・二年)
  - 十四日(火) 実力テスト(三年)
  - 十五日(水) 私立・専修学校推薦入試
  - 十六日(木) 総合テスト(三年)

- 二〇日(月) ひまわりプロジェクト委員会
- 二二日(水) 私立・専修学校一般入試
- 二三日(木) 保護者会(三年)
- 二八日(火) スキー研修(二年)
- 三一日(金) 学年休業日(二年)

#### 二月

- 四日(火) 生徒集会
- 五日(水) 生徒議会議
- 六日(木) 公立高校推薦入試
- 二日(水) 入学説明会
- 一四日(金) 学年末テスト(一・二年)委員会

### 表彰の記録

- 第七七回岡崎市民水泳大会
  - 女子五〇m平泳ぎ 一位
  - 男子四×五〇mフリースタイル 一位
- 第五九回一万人卓球大会
  - 中学生男子一年の部 準優勝
- 岡崎少年中学秋季大会
  - 三位
  - 市主賞コンクール 優秀賞
  - 市作文コンクール 優秀賞
  - 市社会科作品展 入選
  - 市理科作品展 入選
  - 明確な選挙啓発ポスターコンクール 佳作

## 葵が丘

教頭 杉浦 伸也

### 葵中のボランティア活動

葵中学校では、開校以来続く美化委員会による「伊賀川美化活動」、生徒会主催の「被災地復興支援バザー」など、全校の有志がボランティア活動に取り組んでいます。他にも、学区ボランティア活動として、学区の総代さんら依頼を受けた活動に葵中生が参加しています。地域の清掃活動、学区防災訓練や敬老会の運営補助等、その内容は多岐にわたります。毎回、「二〇〇名程の参加者が、いろいろな人と出会える」「学校では得られない経験ができる」「喜んでもらえる」「自分の勉強になる」と、自分の意志で毎回参加する生徒も多くいます。そして、はつととした表情で責任をもって活動をする生徒の姿に、逞しさを感じています。

先日、学区防災訓練に参加したときのことです。地域の方から葵中生に「部活をがんばってるね」「今日はよく来てくれたね」と、温かい声をかけていただきました。そして、声をかけてもらった生徒は笑顔になり、その笑顔が他の参加者にも広がっていました。私は、このように葵中の生徒を知っていたことを何よりうれしく思います。こうした顔を合わせたコミュニケーションは、葵中生はボランティアの機会をいただきます。葵中生はボランティアの機会をいただきます。そして地域社会に貢献できる人材になっていくことを願っています。

今後が学区の人、自然、文化とふれあひながら、葵中生が地域の「一員」として、自分たちの地域を自分たちの手によって、明るく住みよくなるよう支援していきます。

